



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2148号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2211回例会

2018.6.14雨

司会

遠藤真道君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 花房孝光君

会長挨拶

会長 西本和夫君

会長挨拶も今日と28日のさよなら例会で終わりになります。面白くもない話を1年間も御付き合い頂きましてありがとうございました。

やり残した事案があります。パスト会長会議で決定し、理事・役員会に諮りました三島西ロータリークラブのプレザー作成については、本年度会員数の減少により財務的に厳しい折今期でなくても！ネクタイでは？等の意見があり次年度以降に持越し議案となり、本年度は全員の名刺作成のみとなりました。念願であった親睦一座の復活はできませんでした。佐野年度以降に期待したいと思います。また、酒田東RCの創立記念式典参加はできましたが、多治見西RCとの交流はゴルフ同好会の協力だと思っていましたが機会を作れませんでした。以前にも話しましたが「親睦を基盤にした和やかで楽しいクラブ」を佐野年度に引き継ぎたいと思います。過ぎてみると1年は非常に早く満足より反省のほうが多い気がしますが、会長挨拶のネタが無くなってきたので、この位での引き継ぎが丁度良いと思います。関本照年度より始まった月1回の副会長挨拶は大変助かりました。私の会長挨拶も残りはさよなら例会のみとなりましたので佐野副会長には大変申し訳ないのですが、最近は自然に頬が緩んでしまいます。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 澤田利雄君(箱根RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	29/36	80.56%	31/36	86.11%
今回	28/38	73.68%	会員総数	47名

欠席者 赤池君、大石君、鈴木(正)君、須田君、諏訪部(照)君、千葉君、橋本君、古川君、古屋君、前田(邦)君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

理事・役員会の報告も兼ねて幹事報告をいたします。

- ①6/3(日)三島市国際交流フェアが行われ、6/7(木)には社会奉仕委員による盲導犬育成施設見学及び寄付を贈呈してきました。
- ②本日の卓話は関本照文さんです。当クラブの創立記念日が1972年6月8日です。演題は「記念日に寄せて」です。
- ③来週はクラブ協議会で各委員会の年間報告をお願いします。委員長の皆様発表をお願いします。
- ④川真田裕会員より退会届が出まして、理事会で受理されました。
- ⑤今期は特別会計より、玄関前の立て看板43,200円、と名刺代58,000円の2種目支出させていただきました。

2017～2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

スマイルボックス

- ◆箱根ロータリークラブ・澤田君、箱根ロータリークラブの澤田利雄です。初めて貴クラブに参加させていただきます。よろしくお願いいたします。
- ◆遠藤(武)君、6月3日当社三光製作所の創立50周年の式典祝賀会をプラザにて開催することが出来ました。色々お世話になりました。特に関本文彦さん、須田さん、長田さん、野田さん、前田房江さんには大変感謝しております。そして、ザ・ウエストサイズバンドの室伏さん、諏訪部敏之さん、木村さん、赤池さん、野田さんには素晴らしい楽しい演奏で花を添えて頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
- ◆Gテーブル、6月6日Gテーブル会を松韻にて開きました。7名全員の参加に伊丹さんが飛び入りで参加して頂きました。特段のご配慮を頂きましたので、多額のスマイルをいたします。伊丹さんありがとうございました。

卓話

創立記念日に寄せて

関本照文君

1972年(昭和47年)6月8日、三島西RCが誕生した経緯を最後のチャーターメンバーとしてお話させていただきます。私は1965年(昭和40年)4月に、29歳で三島クラブに入会させていただきました。当時、ロータリークラブとは何か?何をするといいか?わからずに入会しました。その後、ロータリーとは職業倫理を重んずる、実業人と専門職業人の集まりである。そしてロータリークラブは単なる社会奉仕のためのボランティア組織ではなく、職業奉仕の理念に基づく職業倫理の高揚とその実践を目的とする団体である。そして会員一人一人が自分の職業の倫理的、道徳的水準を高め、その職業活動を通じて社会に奉仕する。従って職業奉仕はロータリーの金看板であり、職業奉仕を大切にしていこう、と教えられました。当時の国際ロータリーは第359地区(神奈川、山梨、静岡)であり、メンバーにも神奈川地区の会員もいました。そんな中、1969年(昭和44年)10月ごろ初代大場朋世会長が新会員を推薦したが、一部の反対者により入会できず大きな問題となり、それが原因で新クラブ構想に発展しました。その後大場氏は新クラブの目標に「クラブの育成と会員の教育に力をそそぎ」テーマとして「派閥をなくし、親睦を深め、ユーモアのある楽しい例会」が出来るクラブをつくろうと舵をきった。しかしそう簡単にはいかず、1970年(昭和45年)8月に三島クラブのバスター会長、会長、理事の役員会議で、今三島クラブでアディショナルクラブを設立すること、即ち三島地区にもう一つのRCを結成することは、現在三島周辺の事情から

困難であるとの反対意見があった。ならば新たに中林丑太郎氏を長として、11名で拡大委員会を結成し、新クラブ運動を展開、その甲斐あって3か月後の11月に、入江バスターガバナーから新クラブの推進、並びに特別代表の早期決定の話があった。これを受けて、1971年(昭和46年)2月クラブ拡大委員会を開催し、新クラブの会員選考会員のテリトリー等について協議。会員移籍者はすでに21名決定していた。会員テリトリーについては、地域は日大前、税務署前を南へ、新谷線を結んだ道路を境にした西側とする。又、移籍者は①新クラブの創立会員は、新旧地域に関係なく、どちらの地域からでも移籍が出来ること。②新クラブ地域の方でも、旧クラブにそのまま残留してもよい。そして正式に、新クラブ移籍者21名を発表した。

新クラブの人員は最大限35名と定められているので、14名の枠内で創立総会までの3か月で募集ということでしたが、8名を入会させ、チャーターメンバー29名として出発した。そして三島西RC創立総会として6月8日、場所は田代グリルにて開催された。「仮クラブとは」①チャーター、メンバー、リスト②RI、加盟申込書③特別代表報告書④加盟金の領収書をガバナーが推薦者を添えてRIに送り発送した時限に於いて「仮クラブ」になり、メイクアップもできる。そしてRIから加盟承認の電報を入手した時限に於いて本クラブとして発足することになる。その結果、国際ロータリーから6月20日をもって正式加盟の承認となったのです。仮クラブから本クラブになるまでの期間が12日間で承認され、三島西RCが誕生したのです。クラブテーマとして①みんなで例会に出席しよう②ユーモアのある例会にしよう③派閥をなくして親睦を深めようということです。ちなみにRI第359地区から1974年(昭和49年)7月、地区編成で静岡、山梨となりRI第362地区に変わり、1991年(平成3年)にRI第2620地区となり現在に至っております。足掛け3年に亘る新クラブ結成も産みの苦しみはあったものの、見事に実を結んだのであります。そして国際ロータリー加盟認証状伝達式を1973年(昭和48年)3月21日、日本大学三島にて開催、総数608名のお客様にて盛大に挙行されました。式典当日の三島西クラブのメンバーは、1年足らずで11名入会し計40名となり、平均年齢も48歳という若いクラブでもあった。(私は37歳)

記念行事は、升田幸三先生、吹奏楽、陸上自衛隊富士学校音楽隊、記念事業として①三島市へ社会福祉資金贈呈、当時の市長は長谷川泰三氏②三島警察署へ交通安全表示板贈呈③日本大学へ記念品贈呈。その後三島西クラブから1989年(平成元年)6月2日に、特別代表として秋津三郎氏、初代会長として加藤茂平氏ほか17名移籍し、31名で三島南RCを設立、2008年(平成20年)4月クラブ名を変更してせせらぎ三島RCとなり現在に至っています。来年の2019年(平成31年)5月に創立30周年記念式典を挙げるにあたり、親クラブとして全員で出席をお願い致します。

(週報担当:楢山 豊)